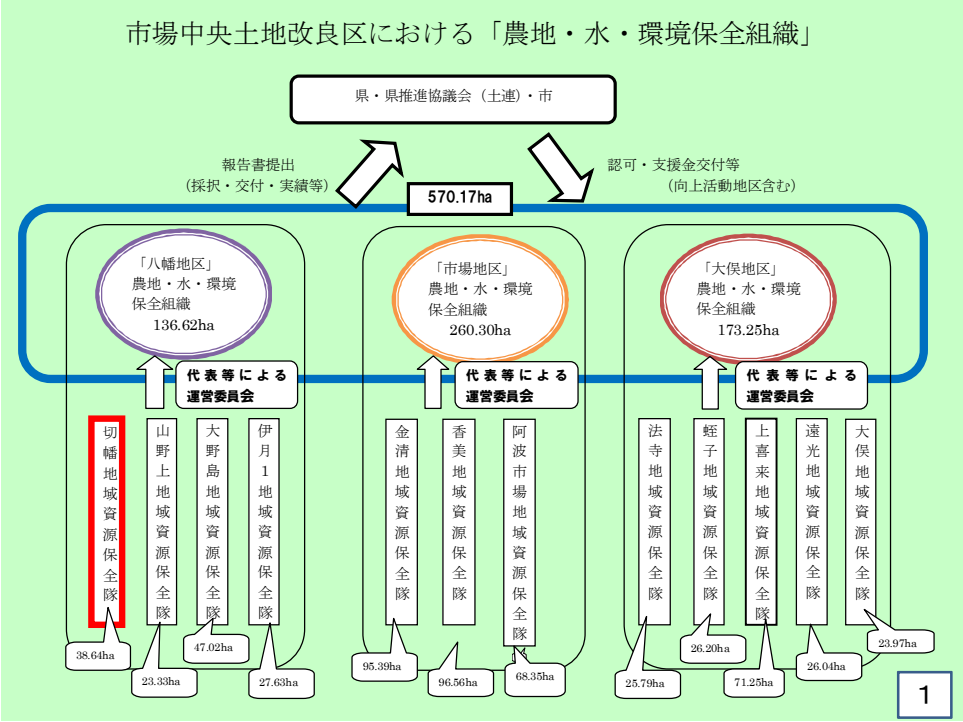


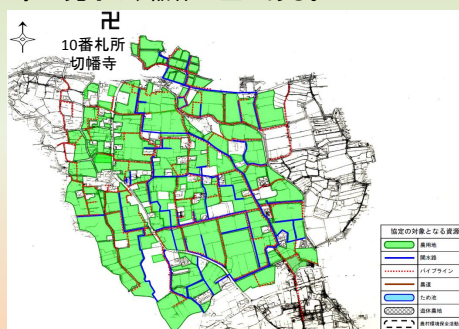


切幡地域資源保全隊の位置図



徳島県阿波市の中心部に位置し、阿讃山脈の南麓で扇状地帯に存する。
地域の北部には徳島自動車道が、また、吉野川北岸用水が縦貫し、主要地方道鳴門池田線の北側に位置している。
平成8年度から実施したほ場整備事業により、区画整理及び用排水路の整備、パイプライン工事が完了し、稲作が主である。

協定農用地 面積	[八幡地域広域組織] (田;108.6ha 畑;27.9ha) 田;35.3ha 畑; 3.0ha
支援交付金	(年額)1,241,150円
資 源 量	開 水 路;6.1km パイプライン;4.8km
戸 数	農 業 者;101戸 (うち、専業4戸) 非農業者;32戸



2

切幡地域の紹介



「区画整備された状況」



「国の重要文化財
に指定されている
切幡寺大塔」

切幡地域の用水の水源は、古くから観音池、姥ヶ池、神明池を利用してきた。昭和31年に阿波用水が完成したことにより、畑作から稲作への転換が広く図られてきた。
平成2年に国営吉野川北岸農業用水が完成し、用水路のパイプライン化の要望が多く寄せられた。その後、切幡、東原、姥ヶ谷、指谷の各土地改良区並びに神ノ木水利組合で協議する中、区画整理とパイプ配管事業の機運が高まり、平成8年度より県営担い手育成基盤整備事業に取り組み、10年の歳月をかけ、完工した。
切幡地域は、四国霊場八十八カ所第10番札所切幡寺の門前で、地域の田園周辺は、遍路道があり多くの参拝者が往来している水田地帯である。
また、地域内には農産物直売所「JA夢市場」があり、地元で収穫された新鮮な野菜や果物を中心に、花や加工品など、豊富に販売している。

3

切幡地域資源保全隊の組織構成



農 業 者 自 治 会 水利組合	地域をA、B、Cに分け、 年間活動計画に沿って、 責任を持って活動に取り 組むよう工夫
JA阿波郡 東 部	農業経営助言 農産物直売所 資材貸与等支援
八幡小学校 切幡子供会	農業体験、水質浄化等 地域の交流活動に参加 広報用の看板図柄作成
水土里ネット 市場中央	活動に対し、幅広い助 言と指導（活動方法、交 付金使途、補修技術研 修、活動組織とのヒアリ ング、申請書・報告書等 作成）

4

本活動に取り組むことになった背景や経緯



ほ場整備完了後、ほ場の土羽は整備前より高くなり、かつ面積が増え、ほ場周辺の管理は農家個々に頼っていたが、農業者の高齢化が進み、排水路の泥上げ、法面の草刈り等、維持管理が難しくなってきた・・・



地域の3水利組合と自治会が協力し、地域ぐるみでの活動及び地域の活性化を図ることになった。

5

基礎活動

6



遊休農地発生状況の把握



開水路の現況



かんがい期前の注油



遊休農地保全管理の実施



開水路草刈り・泥上げ



給水栓の凍結防止対策



農用地の除れき



開水路の藻等の除去



給水栓の凍結防止対策

地域の農業施設を大切に… 次世代へつなげる

開水路



専門家による補修方法の指導

補修技術研修に基づき、
水路や末端給水栓の簡易
補修を自主施工により実施

パイプライン



水土里ネット職員による
補修方法の指導



土のうを積み、法面を補修



型枠を入れて簡易補修



給水バルブを分解・修理

7

お遍路さんに“なごみ”を与える空間づくり

遍路道を
きれいに...

- 阿波市商工観光課と連携し、遍路道沿いに彼岸花の植栽
- 八幡小学校児童による啓発用環境ポスターの作成・設置
- 地域ぐるみで一斉清掃の実施
- 広域組織により、隣接活動組織と活動の連携



専門家による彼岸花植栽
方法の指導



児童によるポスター作成・設置



子ども達も一緒になって
彼岸花植え付け



地域住民による一斉清掃の実施

8

水質環境保全

- 地域住民が一緒になり、水質浄化液「えひめAI-2」を作成
- 地域全戸に配布し、家庭からの排水浄化の意識高揚に努める
- 上流から下流へ広域組織内での連携を図る



納豆菌やヨーグルトをもとに作成



1週間程度置いて発酵させる



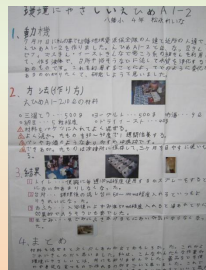
各戸に配布、使用してもらう



各戸へアンケート実施



広報用のパネルを作成し
貼付



活動に参加した小
学児童が
この活動
を題材に
研究発表

9

農業体験を通した世代間交流

「農地」...食の大切さを知り、地域における交流の場



みんなで植えました

お芋掘り体験



焼きいもにして食べました



子ども達が苗を植え、自分の名前とコメントを書いた木札を立てる



お遍路さん
に“お接待”



10

遊休農地を活用...四季の花々

11

遊休農地保全対策の一環として、景観形成活動を実施
→地域住民の目を和ませている

春



菜の花

夏



ひまわり

秋



コスモス

冬



赤ソバ

地域の
子ども達も
種まきの
お手伝い

地域を守る「地域づくり」「地域農業づくり」



活動組織での会議の様子

地域農業づくり

◇FA切幡組合との連携

- ・農業機械に対する過剰投資等の解消
- ・農作業の省力化、低コストを図るとともに冬野菜の導入拡大を図る
- ・農業従事者の高齢化、兼業化等、労働力不足の補完
- ・地域全体の利用集積を図り、将来的には営農活動に繋げたい

◇人と農地の問題について、行政機関と地域が一体となり取り組み、地域農業のこれからについて考える

地域づくり

- ◇農地・農業施設を守る
- ◇水を守る
- ◇田園景観の保全
- ◇地域住民との交流



農産物直売所「JA夢市場」

“地産地消”

- ◇農産物・加工品等、提供の場
- ◇生産活動交流の拠点
- ◇学校給食センターに地域野菜米等の供給

12

活動の意義と将来像

☆環境保全、農業用施設、農業の重要性を再認識

☆3水利組合を統合し、活動組織の体制強化

☆安心安全な農作物の供給

→直売所への出荷

☆農地の集積と担い手の育成

→今後、「人・農地プラン」に寄与

☆遊休農地の発生防止

地域とともに、農村環境
を守り続けたい



13